

## 平成 27 年度事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

越谷市千間台東 1 丁目 2 番地 1

特定非営利活動法人越谷らるご

電話 048-970-8881

理事長 増田良枝

「一人ひとりちがうその人の事情を理解し、気持ちに共感し、成長と学習をきめ細かに支援する」  
という設立趣旨を大切に支援活動を行った。

また、埼玉県より事業委託を受けて「埼玉県ひきこもり相談サポートセンター」を開設した。寄付に  
関しては、基金の運用やインターネットを活用した寄付プログラム等をこれまでと同様継続して行った。

### 1 事業の成果

#### (1) フリースクール事業

年間を通じ 50 名前後が在籍し、子どもたちの居場所、育ちの場を提供した他、下記の活動を行った。

##### 講座・学習

- ・音楽活動を行い、地域の夏祭りで発表する等、他団体とも協働して 5 回の演奏会を実施した。
- ・食育活動として「ひるめし食堂」を週 1 回、実施した。
- ・子ども通信『Happy Go Lucky』を 11 回、編集会議を行い、発行した。
- ・学習支援を、通信制高校に通う子ども、自主的な学びを希望する子どもなどを対象に行った。

##### イベント

- ・特別活動として、外出やお泊り会、クリスマス会、お別れ会などの様々な企画を行った。
- ・夏に三浦海岸で海合宿、冬に水上高原でスキー旅行を実施した。
- ・誕生日会を月に 1 回開催し、その月の誕生者を祝った。
- ・25 周年記念イベントとして、「25 周年記念の会」を開催、また『りんごの木 25 周年記念誌』を發行した。

##### 他団体との連携

- ・3 社の民間企業との交流会を実施した。
- ・他のフリースクールと交流会を実施した。
- ・フリースクール全国ネットワーク主催、フリースクールフェスティバルに参加した。バンド演奏と和風喫茶出店で参加し、実行委員を子どもとスタッフが担当した。またフリースクールスタッフ養成・研修講座、日本フリースクール大会に参加し、活動発表等を行うとともにスタッフ研修の場とした。

##### 保護者との活動

- ・保護者会（1回）、保護者面談（1回）を実施した。
- ・保護者有志によるお茶会が毎月自動的に開催され、保護者同士の交流が深まった。

#### (2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業

- ・親の会を、不登校やひきこもりなどの体験談を聞く機会を交え、実施した。
- ・発達障害を学びあう会として「コル～発達障害とともに生きる会」を 4 回、保護者、スタッフ有志で開催した。

- ・関係機関と連携しながら相談活動を実施した。
- ・7月までピアカウンセリングとして「あっぷるトーク」を行い、11月からは埼玉県より委託を受けて「埼玉県ひきこもり相談サポートセンター」を開設し、相談活動を拡充した。
- ・愛の詩基金事業としてパソコンの購入や電話機増設など相談活動の充実・拡張のための機器整備事業を行った。
- ・不登校・登校拒否を考える全国ネットワークの運営に関わり、全国合宿などの講師を務めた。

#### (3) 生涯学習にかかわる事業

- ・子どものための芸術ワークショップ「アートプロジェクト」事業を実施した。
- ・20歳以上の居場所「ほつとりんご」を月2回程度実施した。
- ・行政と地域との協働事業「わくわく体験プロジェクト」を3回実施した。
- ・越谷市しらこばと基金助成を受け、「ひきこもり支援のための学習会」を3回開催した。
- ・講演会（芹沢俊介氏）を行った。

#### (4) 人権擁護の推進と福祉の増進に関する事業

- ・平成27年5月、ホーム長内藤雅子から新ホーム長中村幸恵に交代した。
- ・平成27年度は入退居者、一時保護委託が多かった。
- ・開設4年目を迎え、退居者の増加にともない就労や生活上の支援の必要性が出てきた。常時退居者からの相談を受け、必要に応じた退居者支援を実施した。
- ・運営委員会をはじめ関係機関との連携に努め、各種研修・会議などに参加した。
- ・業務実施要綱・要領案を整備、また、災害対応体制を検討し、安全危機管理マニュアルを整備した。

#### (5) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業

- ・『越谷らるご通信』を発行した。発送作業はフリースクールの保護者有志、ボランティアが参加して行った。
- ・ホームページの更新、メールマガジン発行、フェイスブック更新等、インターネットを積極的に活用し広報活動を行った。
- ・「ふくしま子ども支援協議会」人材育成事業にメンターとしてスタッフを派遣、協力した。
- ・埼玉県主催「不登校セミナー」にブース出展した。
- ・講演等活動としては、法務省人権擁護局、戸田市生活自立相談センター、越谷市青少年問題協議会、日本学校教育相談学会、草加保健所、草加市社会福祉協議会、朝日エージェンシーにスタッフ、ほつとりんごメンバーを派遣した。
- ・取材としては、テレビ取材（テレビ埼玉、日本テレビ、NHK）、インターネット番組（Yahoo!ニュース）から、取材を受けた。
- ・埼玉県より「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞した。
- ・福岡県篠栗町・町議会議員、越谷市教育センター、埼玉県教育局より視察・訪問があった。

## 2 事業の実施にかかわる事項

### 特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施場所
(1)フリースクール事業	年間を通して、学校以外の子どもの居場所・出会い・交流・学習の場の提供、活動支援、相談活動、見学・体験入会などの実施、情報提供などを行った。平成27年度は46名でスタートし、14名が新入会し、12名が年度中に退会した。(平成28年3月末の在籍：53名)	本法人の事業所他
(2)子どもとの関係	親の会	本法人の事

や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業	毎月1回、年9回実施した。のべ参加者数：84名。	業所
	相談活動 不登校、ひきこもり、家族関係の問題などの相談を受けた。	本法人の事業所他
	あつぶるトーク（7月末まで） 月2回、計8回、ピアカウンセリング方式で個別の相談を開催した。 のべ参加者数： 25名	本法人の事業所
	埼玉県ひきこもり相談サポートセンター（埼玉県委託事業） 月・水～土 10:00～18:00 にひきこもり等に関する相談を電話・来所・メールにて受けた。 のべ相談者数： 270名（8月から準備、11月より開所）。	本法人の事業所
	コル～発達障害とともに生きる会 4回、互助的な会を開催した。のべ参加者数：39名。	本法人の事業所他
	相談活動の充実・拡張のための機器整備事業（愛の詩基金事業） 相談用ノートパソコン2台購入、電話機増設1台増設し3回線となった。	
(3)生涯学習にかかわる事業	アートプロジェクト事業(子どももゆめ基金助成金事業) 5月～翌年3月の土曜日に計17回、子どもや若者を対象に体験的アート活動を行った。のべ参加者数： 241名	本法人の事業所他
	ほっとりんご（埼玉県ひきこもり集いの場運営事業費補助金事業） 20歳以上の人の居場所として毎月2回、座談会や調理など多様な活動を実施した。のべ参加者数：172名	本法人の事業所他
	行政と地域との協働事業「わくわく体験プロジェクト」 不登校の体験談を聞く会など、保護者向けの会を3回実施し、年度末に報告書を作成した。	中央市民会館
	講演会・学習会 学習会として「ひきこもり支援のための学習会」（越谷しらこばと基金助成）を3回開催した。のべ参加者数合計： 139名 芹沢俊介氏を迎えて講演会を開催した。参加者数：45名	本法人の事業所
(4)人権擁護の推進と福祉の増進に関わる事業	自立援助ホームの活動 家庭での生活に困難を抱える若者の生活支援を行った。今年度は1名が自立、5名が新規入居者となった。 アフターケアの状況把握のため、対応件数の集計を始めた。	本法人の事業所
(5)活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業	『越谷らるご通信』の発行 毎月、会員及び関心をもつ方を対象に、活動で得られた知見を社会に発信した。	本法人の事業所
	インターネットによる発信 不特定多数の方を対象に、毎月1回メールマガジンの発行とホームページの更新、フェイスブックによる発信を随時行った。	本法人の事業所
	その他 「ふくしま子ども支援協議会」人材育成事業にメンターとしてスタッフを2名派遣、協力した。また埼玉県主催「不登校セミナー」にブース出展した。	依頼先

### 3 運営管理に関する事項

- ・法人会員は、平成28年3月末現在、正会員101名(105名)、賛助会員42名(39名)であった。  
(括弧内は平成27年3月)
  - ・広く支援を集めるための取り組みとして、「フリースクールりんごの木子どもサポート基金」「若者自立支援基金」、一般寄付を集める取り組みを行った。古書等を通した寄付活動、オンラインでの寄付サイトでの寄付キャンペーンの活用など、様々な方法を用いての資金集めを行った。
  - ・「フリースクールりんごの木子どもサポート基金」への平成27年度の寄付等は337,426円あり、その全額を平成27年度の減免会費減額分(769,020円)の一部に充当した。
  - ・「若者自立支援基金」への平成27年度の寄付は5,000円あり、基金の総額が244,900円となり、自立支援活動のために186,720円を使用した。
  - ・譲渡資産、資産の貸付、役務の提供に関しては該当なし。
  - ・給与を得た職員の総数13名。左記職員に対する給与総額27,161,500円。8月より社会保険加入。